



セブンアイランド ゆい結

第196期 事業報告書

2020年1月1日から2020年12月31日まで



証券コード：9173

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第196期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）の当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は依然として厳しい状況にありますが、持ち直しの動きがみられます。先行きについては、感染拡大の防止策を講じる中で、各種政策の効果等もあって持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、国内外の感染症再拡大による下振れリスクの高まりに十分留意する必要があります。当面不透明な状況が続くものと見込まれております。

当社グループを取り巻く環境も厳しく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、旅客数が激減したことに加え、関連する大島島内でのホテルやバスなどの利用実績も大幅に減少しました。一方で、公共工事等の増加に伴い貨物輸送量は順調に推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、4月以降、金融機関からの借入等で流動性資金を確保し、利用客の需要に合わせた船の減便や諸費用や設備投資の抑制等のコスト削減、港湾施設使用料等の支払い猶予に加えて、雇用調整助成金や各種補助金、協力金等の活用に努めました。また、消毒の徹底、マスクの着用、三密の回避、船内抗菌コーティング、空調抗菌フィルターの取付け、乗船時の検温実施など感染拡大防止に取り組み、お客様と従業員の安全確保を図りました。

また、今後とも安全・安心・快適な船旅を提供するとの基本方針に沿い、6月に三代目となる新造貨客船「さるびあ丸」を、7月に新造高速ジェット船「セブンアイランド結（ゆい）」を就航させました。

この結果、当連結会計年度の業績は、当社グループの営業基盤である東京諸島において来島者数が大幅に減少したことや、レストランシップ業（当社の連結子会社である東京ヴァンテアンクルーズ株式会社が運営、同社を期中に解散・清算）の事業撤退などにより、売上高は89億7千万円（前期111億1千4百万円）、営業損失は4億1千5百万円（前期営業損失7千3百万円）、経常損失は3億2千2百万円（前期経常利益3百万円）、これに特別損益と税金費用などを計上した後の親会社株主に帰属する当期純損失は3億2千8百万円（前期純利益2千4百万円）となりました。

また、個別業績につきましては、売上高は83億7百万円（前期91億7千5百万円）、費用面で原油価格の下落に伴う船舶燃料費の大幅な減少があり、営業利益は8百万円（前期6百万円）、子会社に対する貸倒引当金繰入額を営業外費用に計上したことなどにより、経常損失は6千万円（前期経常利益7百万円）、これにレストランシップ業の子会社に対する関係会社債権放棄損などの特別損益と税金費用を計上した後の当期純損失は2億4千7百万円（前期純利益5百万円）となりました。

今後のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により1月8日に緊急事態宣言が再度発出されるなど、先行きは不透明な状況が続くものと見られています。加えて、当社グループにとりましては原油価格の動向や、為替相場の変動、気象海象条件など、引き続き厳しく予断を許さない環境が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは、基本理念である「安全運航」の徹底と「良質のサービスの提供」のもと、コロナ禍で観光客の激減等により大きな影響を受けた営業の立て直しが喫緊の課題となっています。

旅客部門は、安心・安全な「東京宝島」への旅行の提案に注力してまいります。また、東京湾納涼船は、幅広い年齢層のお客様にお楽しみいただける船内空間を創出し、ブランドの強化を図ります。

貨物部門は、工物品目輸送の積極的な受注を図り、あわせて貨物事故防止を徹底し、またコンテナ管理を強化してまいります。

商事料飲事業は、今年再開する東京湾納涼船における船内販売の強化、竹芝客船ターミナル内レストランの収支改善、ECサイトの構築を中心とした様々な島しょ向け商品販売など新規事業に取り組んでまいります。

ホテル事業は、改修工事を計画的に進め、集客に努めて稼働率の向上を図ると共に、客単価のアップとコストの低減を図ります。

旅客自動車運送事業は、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定の期限が到来することから更新に注力し、引き続き安全運行と収支改善に努めてまいります。

以上のとおり、各部門に亘って業績向上を図るため、一層の努力をいたす所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対し、従来と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山崎潤一

連結決算ハイライト 第196期（2020年1月1日～2020年12月31日）

連結売上高

8,970 百万円
(対前期比19.3%減)

連結営業損失

415 百万円
(対前期比-%)

連結経常損失

322 百万円
(対前期比-%)

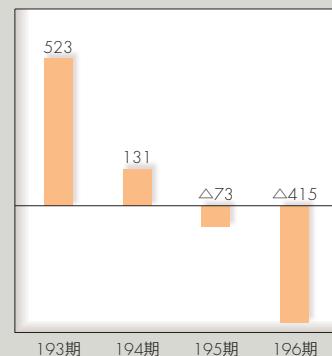
親会社株主に帰属する当期純損失

328 百万円
(対前期比-%)

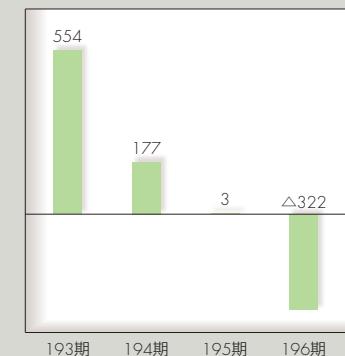
連結売上高 (百万円)



連結営業利益又は営業損失(△) (百万円)



連結経常利益又は経常損失(△) (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)



海運関連事業

売上高
7,537 百万円
(対前期比 9.6%減)

営業利益
213 百万円
(対前期比 33.4%減)



主力の海運関連事業の旅客部門は、第1四半期は東京諸島の島や海などの豊かな自然と、よりお客様のニーズに合った「東京の島」ならではの企画商品並びに会社創立130周年記念プランを継続して造成し、営業活動と宣伝活動に取り組み順調でしたが、第2四半期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、緊急事態宣言以降、観光需要・ビジネス需要等は激減しました。最多客期の第3四半期は、感染症再拡大により東京諸島各島の来島自粛が続き、旅客数は低水準にとどまり、第4四半期は、GoToトラベルキャンペーン等により旅客数は回復しましたが、感染症再拡大による12月中旬以降のキャンペーン等の一時停止により旅客数は再び落ち込み、挽回には至りませんでした。また、東京湾の夏の風物詩である東京湾納涼船は、感染防止の観点から本年は運休としました。この結果、全航路の旅客数は過去に例を見ない大幅な減少となり、37万8千人（前期83万1千人）となりました。

一方、貨物部門は、生活関連品目輸送の品質向上など、お客様の利便性と集荷効率の引き上げを引き続き図りました。また各島の公共工事等の動向を注視し、集荷に遺漏がないように取り組んだ結果、工事関連品目などの輸送量が伸び、貨物取扱量は全島で29万1千トン（前期27万5千トン）となりました。

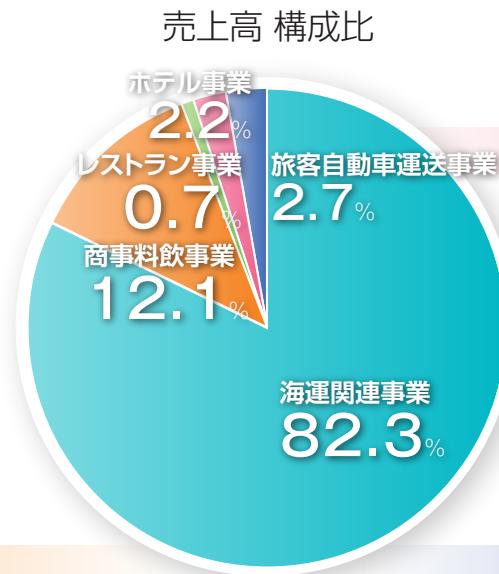
この結果、当事業の売上高は、75億3千7百万円（前期83億4千万円）、営業利益は2億1千3百万円（前期3億2千万円）となりました。

商事料飲事業

売上高
1,106 百万円
(対前期比 24.1%減)

営業利益
98 百万円
(対前期比 22.4%減)

商事部門は、貨物部門並びに島内外の取引先と連携を密にし工事の情報を積極的に収集したことにより、島嶼向けセメント販売は堅調に推移しました。一方、料飲部門においては東京湾納涼船の運休により売上が大幅に減少しました。この結果、当事業の売上高は11億6百万円（前期14億5千7百万円）、営業利益は9千8百万円（前期1億2千7百万円）となりました。



レストラン事業

売上高
67 百万円
(対前期比 92.6%減)

営業損失
191 百万円
(対前期比 -%)



東京湾周遊のレストランシップ事業は、近年売上が伸び悩んでいましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりさらに売上は大きく落ち込みました。4月の緊急事態宣言後は休業による損失が膨らみ、老朽化した船舶の維持費用を考慮すると今後の事業の継続は困難と判断し6月末をもって事業を撤退し、30年間の営業に幕を下ろしました。この結果、当事業の売上高は6千7百万円（前期9億6百万円）、営業損失は1億9千1百万円（前期営業損失3千9百万円）となりました。なお、東京ヴァンティアクルーズ株式会社は、2020年6月30日に解散、12月17日に清算終了しております。

ホテル事業

売上高
204 百万円
(対前期比 45.2%減)

営業損失
45 百万円
(対前期比 -%)



大島温泉ホテル事業は、大島の豊富な海の幸の料理・高品質の源泉掛け流し温泉・露天風呂からの三原山の眺望やホテル屋上に星空を観望できる「三原山テラス」の施設など、「島の魅力」を前面に押し出した営業活動を行いました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により宿泊客が大幅に減少したため4月中旬以降断続的に休館としコスト削減に努めました。10月以降はGoToトラベルキャンペーン等により稼働率が大きく上昇しましたが、挽回には至りませんでした。この結果、当事業の売上高は2億4百万円（前期3億7千2百万円）、営業損失は4千5百万円（前期営業利益1千7百万円）となりました。

旅客自動車運送事業

売上高
245 百万円
(対前期比 21.3%減)

営業損失
47 百万円
(対前期比 -%)



当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、安全運行に努めてまいりました。「樺まつり」においては、季節の人気定番商品の「国際優秀つばき園」を巡るコースのほか、フォトスポット「地層大切断面」へ案内するバスツアーを加えて企画商品の充実を図り、利用客の獲得に注力しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島客が大幅に減少したため路線バス及び定期観光バスを一部運休・減便としコスト削減に努めました。10月以降はGoToトラベルキャンペーン等で乗客数は伸びましたが、挽回には至りませんでした。この結果、当事業の売上高は2億4千5百万円（前期3億1千1百万円）、営業損失は4千7百万円（前期営業損失1千4百万円）となりました。なお、定期路線バスにおいては大島町から継続的な支援を受けております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2020年12月31日現在)	前期 (2019年12月31日現在)
●資産の部			
流動資産		5,459	3,471
固定資産		15,972	16,624
有形固定資産		13,622	14,298
無形固定資産		130	148
投資その他の資産		2,219	2,176
資産合計		21,431	20,095
●負債の部			
流動負債		4,619	4,117
固定負債		11,974	10,684
負債合計		16,593	14,802
●純資産の部			
株主資本		4,717	5,089
資本金		1,100	1,100
剰余金		3,627	3,999
自己株式		△10	△10
その他の包括利益累計額		56	125
非支配株主持分		63	78
純資産合計		4,837	5,293
負債純資産合計		21,431	20,095

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	前期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
売上高		8,970	11,114
売上原価		8,216	9,829
売上総利益		754	1,285
販売費及び一般管理費		1,169	1,359
営業損失(△)		△415	△73
(営業外収益)		222	156
(営業外費用)		128	78
経常利益又は経常損失(△)		△322	3
(特別利益)		3,722	—
(特別損失)		3,808	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)		△408	3
税金費用		△65	11
当期純損失(△)		△342	△8
非支配株主に帰属する当期純損失(△)		△14	△33
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△328	24

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	前期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△726	633
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,118	△4,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,341	3,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		496	△406
現金及び現金同等物の期首残高		1,262	1,669
現金及び現金同等物の期末残高		1,758	1,262

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

12月31日現在および6月30日現在の100株以上ご所有の株主各位に次の通り株主乗船割引券および株主サービス券を発行しております。

●権利確定日および有効期間等

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		↑				↑		↑			↑
		株主優待発送 (有効期限：4月1日～9月30日)				権利確定日			株主優待発送 (有効期限：10月1日～翌年3月31日)		権利確定日

株主乗船割引券
●発行方法

所有株式数	100株～199株	200株～399株	400株～599株	600株以上
発行枚数	10枚	20枚	30枚	40枚

●優待内容

- ・全航路の全等級について、お一人さま乗船一区間につき株主乗船割引券1枚にて所定運賃の35%引(7月、8月のご乗船は25%引)とします。ただし、島嶼において同日に同一方向の他の船に乗り継いでご利用になる場合に限り一区間として発売します。この場合、区間内の乗船券を同時にご購入下さい。なお、企画旅行は対象外となります。
- ・東京湾納涼船(2021年7月1日～2021年9月12日運航)は、乗船割引券1枚につき、大人のみ、お一人さま1,200円でご利用いただけます。
- ・有効期間内に乗船券をご購入下さい。

株主サービス券
●発行方法

- ・100株以上保有されている株主様に、株主サービス券を一律1冊発行致します。

●優待内容

種類	内容	枚数
東海汽船 企画旅行15%割引券	東海汽船(株)が企画・実施する旅行商品(日帰り・宿泊とも)を15%割引でご利用いただけます。ただし、特別プラン、延泊ならびにオプション(タクシー観光、バス観光、レンタカー、ダイビング、各種体験等)は対象外となります。	各5枚
大島温泉ホテル 宿泊50%割引券	大島温泉ホテルをご宿泊(1泊2食付)基本料金の50%割引でご利用いただけます。	
大島温泉ホテル 朝食休憩割引券	大島温泉ホテルの温泉ご入浴と朝のお食事ができる休憩料金(通常料金おとな：2,100円/こども1,700円)を500円割引(こども300円割引)にてご利用いただけます。	
東海汽船グループ ショップ・売店15%割引券	竹芝客船ターミナル内売店「ショップ竹芝」、大島元町港・岡田港船客待合所内売店(一部店舗除く)、大島温泉ホテル内売店にて、お買い上げ金額の15%割引でご利用いただけます。ただし、切手や印紙類・新聞書籍・酒類・煙草・その他一部商品を除きます。	
大島島内路線バス 1日・2日乗車券割引券	大島島内で運行する路線バスが乗り降り自由となる1日乗車券(通常料金おとな2,050円・こども1,030円)をおとな1,850円・こども930円にて、2日乗車券(通常料金おとな3,100円・こども1,550円)をおとな2,800円・こども1,400円にてご利用いただけます。	

■会社概要 (2020年12月31日現在)

商号	東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
本社	東京都港区海岸1丁目16番1号
創立	1889年11月15日
資本金	11億円
従業員数	312名

■株式の状況 (2020年12月31日現在)

発行可能株式総数	880万株
発行済株式の総数	220万株
株主数	6,477名

■大株主 (2020年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	446千株	20.32%
DOWAホールディングス株式会社	150千株	6.83%
株式会社みずほ銀行	52千株	2.39%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	51千株	2.32%
ENEOSホールディングス株式会社	50千株	2.27%
東海汽船従業員持株会	38千株	1.75%
みずほ信託銀行株式会社	35千株	1.59%
三菱重工業株式会社	34千株	1.58%
内海造船株式会社	33千株	1.50%
東京汽船株式会社	25千株	1.17%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式 (5,156株) を控除して計算しております。

■役員 (2021年3月24日現在)

代表取締役社長	山崎潤一
取締役	若林英一
取締役	道平隆
取締役	齊藤宏之
取締役	櫻井薫
取締役	倉崎嘉典
常勤監査役	牧野龍裕
監査役	池田雄二郎
監査役	宇田川秀人

ホームページのご案内



<https://www.tokaikisen.co.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っておりますのでぜひご利用下さい。また、船の時刻、運賃、空席情報、貨物輸送のご案内、当社企画旅行情報、各島の情報を当社SNS等で公開しておりますので、併せてご利用下さい。

■株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
基準日	12月31日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 (公告掲載URL https://www.tokaikisen.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。

■株式に関するお知らせ

「特別口座」について

株券電子化に際して、株主様が証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかったご所有の当社株式は、みずほ信託銀行にて開設した特別口座 (※) にて管理されています。特別口座においては、株式を売買することができない (単元未満株式の買取を除く) など、株主様にご不便をおかけすることがあります。お手続きを円滑に行うためにも「特別口座」から「証券会社等の口座」へのお振替申請をお勧めいたします。(予め証券会社等での口座開設が必要です。)

振替手続の申請、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認下さい。

(※) 「特別口座」とは、株券電子化に伴い、証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかった株券について、株主様の権利を保全するため、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

単元未満株式の買取について

当社では、証券市場で株式を売買できる取引単位を100株単位 (1単元) とさせていただいており、単元未満株式 (1~99株) は証券市場においては売買することができません。そこで、株主様がご所有の単元未満株式を当社が買取らせていただく制度がございます。単元未満株式をご所有の株主様は、この制度のご利用をご検討いただきますようご案内いたします。買取制度のお手続にあたっては、所定の手数料 (会社が定める買取手数料) が必要となります。単元未満株式買取制度のご利用、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認下さい。

お問合せ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

☆本ご案内 (ご説明) は、株式に関する諸手続についてご案内 (ご説明) するものです。特定の証券会社との取引勧誘や単元未満株式の買取請求の勧誘を目的とするものではありません。お振替、単元未満株式買取請求に関しては、株主様ご自身にてご判断いただきますようお願い申し上げます。

1月 伊豆大島椿まつりオープニング
江戸神輿ツアー



第65回伊豆大島椿まつりのオープニングセレモニーに合わせて催行されました。400名を超える参加者が江戸神輿を担ぎ、椿まつりの初日を盛り上げました。

1月 日本BS放送 BS11にて
東海汽船創立130周年を
記念した特別番組が放送！

1/22に1時間の特別番組として放送されました。たくさんの方々に支え続けられた東海汽船の歴史と未来に向けた想いをお伝えいたしました。



2-3月 ジェット船の
臨時航路を千葉港・
江の島より運航！

2～3月にかけて、計9日千葉港・江の島から伊豆大島へ臨時運航いたしました。今後お客様へ島の魅力をお届けできるよう新たな航路の開拓に取り組んでまいります。

3月 新造高速ジェット船
「セブンアイランド結」が
着水！

3/26に川崎重工業 神戸工場にて「セブンアイランド結」の命名・着水式が執り行われました。



4-6月 自宅で旅気分！
動画で旅するキャンペーン！をSNS上で開始



新型コロナウイルス感染症で外出自粛が続き、沈みがちな気分を少しでも明るく、また終息後の旅行のモチベーションを上げる機会を提供したい想いでキャンペーンを実施いたしました。6/15の締切までに約500点の作品のご応募をいただき、大いに盛り上がりしました。



6月 新造船就航を記念して
東海汽船イメージソングを
リリース

神戸市在住のピアノ弾き語りシンガーソングライター『藤井恵』さんに作詞・作曲していただきました。「今から島へ行く、2つの扉（新造船）新しい年の幕開け」という意味合いを込めてIslands Blueが作られました。この曲は大型客船船内においても使用しております。



6月 3代目「さるびあ丸」 竣工・引渡し

約1年5ヶ月にわたる建造を経て無事に竣工し、6/3三菱造船株式会社より船の引渡しが行われました。Islands Blueが流れる中、皆様に盛大に見送られました。



6月 3代目「さるびあ丸」 初就航

6/25に新造貨客船3代目「さるびあ丸」が東京・竹芝桟橋より初就航いたしました。この日に限り、三宅島・御蔵島・八丈島へ向かう2代目「さるびあ丸」と同時出航し多くの方々に「光のお見送り」をしていただきました。また、2代目「さるびあ丸」はこの日の東京発を最後に定期航路より引退となりました。



7月 7/13に新造高速ジェット船「セブンアイランド結」が東京・竹芝桟橋より初就航いたしました。また、「セブンアイランド虹」は7/12に定期航路より引退し、7/16に東京竹芝を離れました。



8-9月 多くのお客様から愛された2代目「さるびあ丸」の客室案内パネルや毛布など船内備品17種62点を限定販売し公募1週間で約500件の応募がありました。売上金306,315円を海の羽根募金へ寄付し、「海の豊かさを守ろう」を目的とした海洋美化に役立てていただくことといたしました。



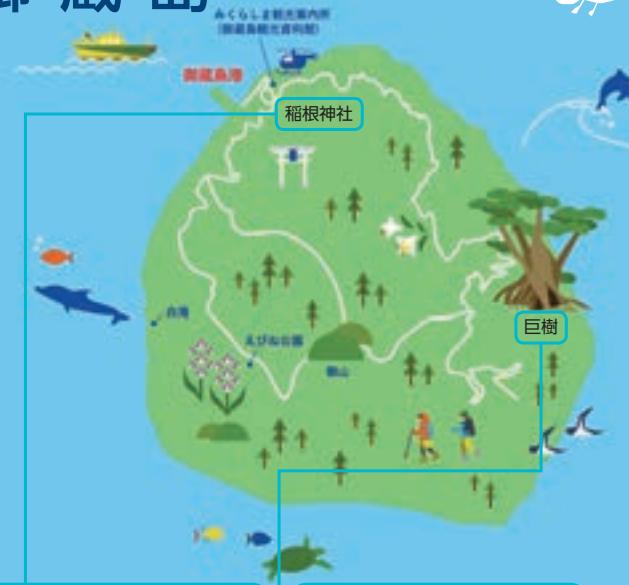
8-10月 Nintendo Switch「あつまれ どうぶつの森」内で着用できる船長服やあんこ衣装の他、セブンアイランド6隻の東海汽船オリジナルマイデザインを配布いたしました。セブンアイランド6隻のマイデザインを再現したオリジナルTシャツは2021年発売予定です。



9-12月 横浜から東京・竹芝まで東京湾の綺麗な夜景をお楽しみいただける約1時間半のクルージングで、期間中約8,000名のお客様にご乗船いただき大盛況でした。船内ではフォースポット設置の他、フードスタンドでの飲食物販売やMCによる夜景ポイントのご案内などを実施いたしました。

島ナビ VOL.7
御蔵島

面積 約20.58km²
周長 約16.4km（道路半周約20km）
東京・竹芝より約200km



稲根神社
島の産土神（うぶすながみ）を祀る稲根神社は延喜式にも記録が残る古社で、氏神としても厚い信仰を集めています。



イルカウォッチング
海で癒しのひとときを。御蔵島は野生イルカの生息が確認されているイルカウォッチングの楽園です。親子のイルカとも頻繁に出会い、特別な感動が味わえます。



巨樹
日本の巨樹の約5%を占める御蔵島には、確認されただけでもスタジイ、シイなど491本もの巨樹が息づいています。中でも大ジイと呼ばれるスタジイは幹周13.8mで日本一を誇るほど。

高速ジェット船

セブンアイランド結

ゆい

2020年
7月13日
就航!

高速ジェット船「セブンアイランド虹」の代替船として
主に東京・熱海～大島～利島～新島～式根島～神津島航路を運航します。

バリアフリー対応

ジェットフォイルの建造は国内では1995年以来で25年ぶりの新造船です。

東京～大島間120Kmを約1時間45分の超高速で運航し、バリアフリー設備の設置によって更に多くのお客様に安心してお過ごしいただける船となります。

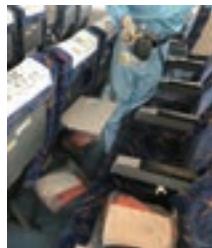


竣工	2020年6月30日
就航	2020年7月13日
総トン数	176トン
全長	約27.36m(水中翼ダウン時)
全幅	約8.53m
深さ	約2.59m
最大速度	43ノット(約80km)
馬力	3800HP×2
旅客定員	241名
デザイン	野老朝雄氏(美術家)
造船	川崎重工業株式会社 神戸工場

新型コロナウイルス感染症対策

大型客船・高速ジェット船全6隻に抗菌コーティングおよび抗菌・抗ウイルスフィルター装着

抗菌コーティング



抗菌・抗ウイルスフィルター



その他、船内座席調整、アルコール消毒での清掃の他、常に外気を取り入れ、船内の空気の入替え等を行っております。お客様と従業員の安心・安全な環境を守るため引き続き予防措置を講じてまいります。

詳しくは東海汽船HPにてご案内させていただいております。

<https://www.tokaikisen.co.jp/news/79121/>

